

子ども

大人は躰のつもりでも、子どもにとって苦痛かどうかで「虐待」であるかを判断します。「おまえは、おれの子どもではない」など、言葉による暴力も虐待です。どの子ども将来の日本を担う大切な人材です。家庭、地域、社会が連携して、子どもの人権を見守り、育てていきましょう。

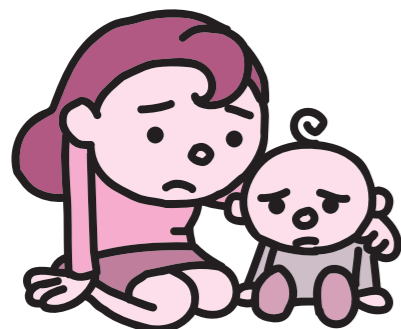
女性

「わたしが話し掛けても、無視している。それってドメスティックバイオレンス (DV) でしょう?」、相手の人権を犯しているからDVです。夫やパートナーからの暴力の解消も重要な課題です。女性と男性が、互いに性差を認め合い、対等な立場で協力し、責任を分かち合っていきましょう。

高齢者

戦後の混乱期を乗り越え、今日の日本社会を築き上げたのは高齢者のかたがたの頑張りでした。高齢者のかたがたは、多くの経験と生活の知恵をお持ちです。それなのに「年寄りは口うるさく、今のわたしたちに合わない」と邪魔者扱いしたり、毛嫌いしていませんか?

お年寄りの貴重な経験や知恵は、宝物です。お年寄りを敬い、貴重な知恵をたくさん伝えていただきましょう。



人権意識 ちゃんと もってますか



障害者

障害者を特別な人、かわいそうな人として見ていませんか?

障害のある人は「障害は不自由ですが、哀れみや同情の目で、振り返らないでください」「思いやりの心は本当にうれしく、ありがたく思います」「明るい社会をつくる一人になりたいのです」と訴えています。障害のある人と共に生きる社会づくりに努めましょう。

外国人

国際化時代で多くの外国人が日本で生活するようになりました。同様にたくさんの日本人も世界中の国々で生活しています。

肌の色が異なり、生活文化が違い、話す言葉が違っていても心の通い合える同じ人間です。異なった文化や生活習慣などを互いに認め合いましょう。

同和問題

「寝た子を起こすなよ」「部落差別なんて、もうなくなってるよ」こんな会話を聞くことがあります。本当になくなったのでしょうか?

人生の門出の結婚となると、部落差別が実際に現れます。部落差別は封建社会の身分制度に由来するものです。周囲の人たちも、祝福された結婚となるように歴史をしっかりと学びましょう。そして、正しい理解を広げましょう。

特集



市民がつくる 人権尊重の深谷市

人権
尊重

心と心に橋を架ける

人権尊重社会を目指す運動強調月間

本市では、郷土の偉人 渋沢栄一翁が生涯にわたって実践した「忠恕」の教えを基に「人権が尊重される住みよい深谷市づくり」に全市を挙げて取り組んでいます。(忠恕=まごころと思いやりの心)

栄一は、日本最初の養護施設である東京養育院の院長を、明治7年(35歳)から、亡くなる昭和7年(91歳)まで熱心に務めました。どんなに仕事が忙しくても、施設に出掛け、そこで生活している身寄りのない子どもや高齢者が楽しく生活できるように、親身になって世話をしました。このことは、母のまごころと思いやりの影響を強く受けたといわれています。



油絵「東京養育院」 渋沢敦雄画

一人で悩んでいませんか 気軽に相談してみましょう

- 女性の人権侵害でお悩みのかた L・フォルテ (☎ 573 - 4761)
- 子どものいじめで心配のかた 深谷市教育研究所 (☎ 572 - 9456)
- 人権擁護委員による人権相談 人権政策課 (☎ 574 - 6643)



平成 20 年度人権啓発フェスティバル ヒューマンフェスタ 2008 さいたま

と き：8月28日(木)午前10時～午後4時40分
と ころ：大宮ソニックシティ

入場無料

大ホール

- 人権作文表彰・発表
- 人権講演会
気象予報士 / 石原良純
- 「ダ・カーポ」コンサート

小ホール

- 講演とライブ
山本コウタロー

国際会議場

- 人権啓発資料展示
- 人権相談コーナー開設
- 人権啓発映画 (VTR) 上映

イベント会場

- 浦和学院高等学校
ソングリーダー部 演舞
- Assy ライブ
- ジャグリングショー
矢部 亮
- Pan Pop Paradise ライブ

■問い合わせ 埼玉県県民生活部人権推進課 (☎ 048 - 830 - 2255) へ